

加賀市統合新病院建設基本計画

部門別計画等（変更案）

（医療機器等整備計画等）

平成24年6月14日

5. 医療機器等整備計画

ア. 基本方針

- 1) 安全で安心な医療機器を提供できる環境整備を行う。
- 2) 地域中核医療機関として機能するために必要な医療機器を整備する。
- 3) 原則として、新病院に移設して使用可能な医療機器等は移設する。
- 4) ME機器の保守・管理等の管理業務を一元的に行う体制を整備し、情報システム等の活用により、物品の有効利用と安全性の向上を図る。

イ. 機能・規模

a. ゾーニング等

- 1) ME貸出庫、ME返却庫、ME保管庫、修理・保守スペースで構成するMEエリアを設置する。
- 2) 血液浄化業務（腹水濃縮濾過等）スペースを設ける。
- 3) 医療機器安全管理に関する書類等の保管、医療機器のアリバイ管理、情報管理を行える端末を配置し、作業できるスペースを設ける。
- 4) 関係する各部門（病棟、手術室、救急室）との連携を考慮した配置とする。

b. 主な取扱機器

新病院において使用する主な医療機器等として下記の機器を想定し、各機器の設置、使用、保守、保管などが無理なくできるようスペースの確保などに配慮する。ただし、開院時には可能な限り最新の医療機器等を導入するため、機器の種類は変更があるものとして、今後の技術動向等を考慮すること。

① 外来部門

- 1) 各科ユニット
- 2) 超音波診断装置

② 救急部門

- 1) 人工呼吸器
- 2) 除細動器
- 3) 超音波診断装置
- 4) 心電計
- 5) A C T測定装置
- 6) 大動脈バルーンパンピング
- 7) 心拍出量計
- 8) 各種モニター（ベッドサイドモニター・生体監視装置）
- 9) 無影灯

③ 手術部門

- 1) 手術用顕微鏡
- 2) レーザーメス
- 3) 手術台
- 4) 無影灯
- 5) 麻酔器（モニター含む）
- 6) 外科用イメージ装置
- 7) 内視鏡システム

④ 放射線部門

- 1) 一般撮影装置

- 2) 乳房撮影装置
- 3) X線TV装置
- 4) 血管撮影装置 (バイプレーン心臓用)
- 5) 血管撮影装置 (AngioCT)
- 6) CT
- 7) MRI
- 8) ガンマカメラ
- 9) 骨密度測定装置
- 10) ポータブル撮影装置
- 11) 体外衝撃波結石破碎装置
- ⑤ 検査部門
 - 1) 脳波計
 - 2) 心電計
 - 3) 聴力検査装置
 - 4) 生化学分析装置
- ⑥ 内視鏡部門
 - 1) 内視鏡画像ファイリングシステム
 - 2) 上部消化管ビデオスコープ
 - 3) 下部消化管ビデオスコープ
 - 4) 大腸用ビデオスコープ
 - 5) 電子内視鏡システム
 - 6) 内視鏡洗浄装置
- ⑦ 分娩部門
 - 1) 胎児監視システム
 - 2) 分娩監視システム
 - 3) 分娩台
 - 4) 新生児診療システム
 - 5) 保育器
 - 6) 超音波診断装置
- ⑧ 透析部門
 - 1) 血液浄化装置
- ⑨ リハビリテーション
 - 1) 作業療法機器
 - 2) 理学療法機器
- ⑩ 病棟部門
 - 1) ICUベッド
 - 2) 患者監視装置
 - 3) 輸液ポンプ
 - 4) 電動ベッド
 - 5) 人工呼吸器
- ⑪ 薬剤部門
 - 1) 全自動錠剤分包機
 - 2) クリーンベンチ
 - 3) 安全キャビネット
- ⑫ 中央材料部門

- 1) 高圧蒸気滅菌装置
- 2) EOG滅菌装置
- 3) 蒸気発生器
- 4) プラズマ滅菌装置
- 5) 洗浄機
- 6) 乾燥機

ウ. 運営システム

a. 機能

- 1) ME機器の中央管理及び貸出
- 2) 機器の保守点検
- 3) 保守部品と外注修理の手配
- 4) ME機器のライフサイクル（購入から廃棄まで）に沿った中央管理を行い、無駄のない効率的な運用を行う。
- 5) 各部門で使用される人工呼吸器、輸液ポンプ等のME機器を中央管理し、高額な医療機器の有効利用を進める。

6. 医療情報システム計画

ア. 基本方針

- 1) 患者サービスの向上・診療支援のための迅速な情報提供を目的とした診療・患者情報、会計の機能的な情報システム（院内情報システム）の確立を目指す。
- 2) 電子カルテシステム導入や部門システム間の連動等により、業務の効率化を図るとともに、将来的には地域医療機関との連携システム等も検討する。

イ. 機能・規模

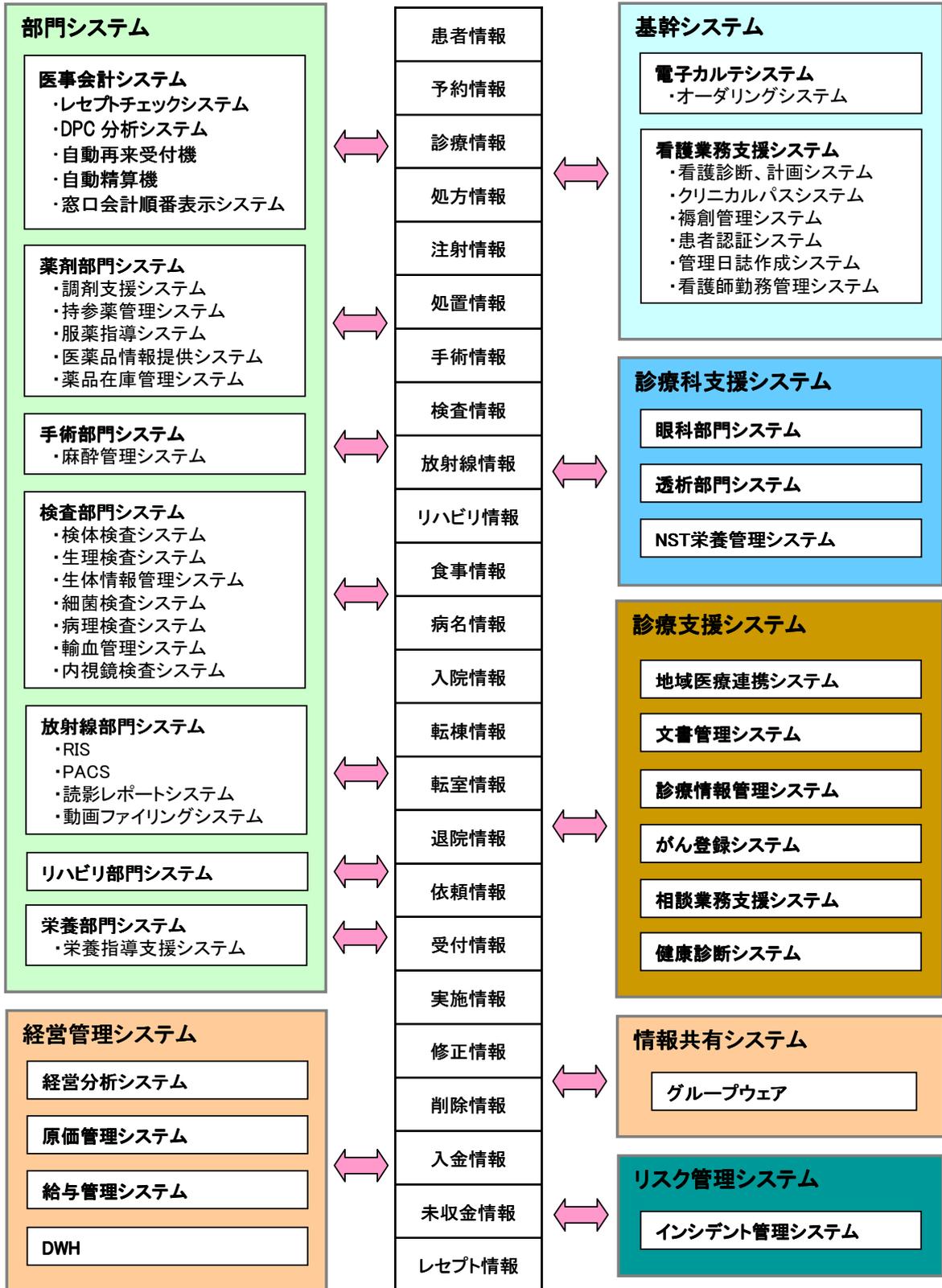
	システム名	新病院導入範囲
基幹システム	電子カルテシステム	○
	・オーダーリングシステム	○
	看護業務支援システム	○
	・看護診断、計画システム	○
	・クリニカルパスシステム	○
	・褥創管理システム	○
	・患者認証システム	○
	・管理日誌作成システム	○
	・看護師勤務管理システム	○
診療科支援システム	眼科部門システム	○
	透析部門システム	○
	NST 栄養管理システム	○
診療支援システム	地域医療連携システム	○
	文書管理システム	○
	診療情報管理システム	○
	がん登録システム	○
	相談業務支援システム	○
	健康診断システム	○
情報共有システム	グループウェア	○
リスク管理システム	インシデント管理システム	○
部門システム	医事会計システム	○
	・レセプトチェックシステム	○
	・DPC 分析システム	○
	・自動再来受付機	○
	・自動精算機	○

部門システム	・窓口会計順番表示システム	○
	薬剤部門システム	○
	・調剤支援システム	○
	・持参薬管理システム	○
	・服薬指導システム	○
	・医薬品情報提供システム	○
	・薬品在庫管理システム	○
	手術部門システム	○
	・麻酔管理システム	○
	検査部門システム	○
	・検体検査システム	○
	・生理検査システム	○
	・生体情報管理システム	○
	・細菌検査システム	○
	・病理検査システム	○
	・輸血管理システム	○
	・内視鏡検査システム	○
	放射線部門システム	○
	・RIS(放射線部門情報システム)	○
	・PACS(画像保存通信システム)	○
	・読影レポートシステム	○
	・動画ファイリングシステム	○
	リハビリ部門システム	○
	栄養部門システム	○
	・栄養指導支援システム	○
	経営管理システム	経営分析システム
原価管理システム		○
給与管理システム		○
DWH(データ蓄積検索システム)		○

- 1) 大量の画像情報を伝送するため基幹部分は高速ネットワークとする。
- 2) 災害時、トラブルに備えて信頼性のあるネットワークを形成する。

以下に医療情報システム計画の概念図を示す。

医療情報システム導入、構築計画概念図



7. 物品供給管理システム

ア. 基本方針

- 1) 確実な安定供給を行うとともに、物品の搬送量や臨時搬送の発生を可能な限り減らすことに努める。
- 2) 診療が円滑に行える物品管理・供給システム（HIS(Hospital Information System:病院情報システム)との接続連携を含め）の構築・導入を柔軟かつ慎重に検討する。

イ. 機能・規模

a. 物品管理システム

- 1) 物品管理部門を集約化し、物品供給を行う。
- 2) 各部門で使用する搬送物品を対象とする院内搬送システムについては、人手搬送と機械搬送の合理的な組み合わせにより、効率的なシステムを構築する。
- 3) 検収コーナー、保管スペース、物品補充作業スペース、事務室等で構成される物品管理エリアを配置する。
- 4) 災害対応を考慮し、3日分の在庫を確保する。

b. リネン

- 1) リネンの洗濯は外部委託を行う。
- 2) 患者用洗濯室は、各階に設ける。
- 3) 回収室、汚染リネン仕分けスペース、消毒スペース、洗濯コーナー、清潔リネン保管庫、マットレス保管庫等、上記必要諸室にて構成するリネンエリアを配置する。